

なかの

就労支援ネットワークNews

2008年8月
平成20年

No.15

発行：なかの障害者就労支援ネットワーク事務局
中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）
〒165-0026 東京都中野区新井2-8-13 TEL(03)3388-2941 FAX(03)3388-2942
URL <http://www.next-nakano.com> E-mail office@next-nakano.com

印刷：(社福) 東京コロニー
コロニー中野
TEL (03) 3953-3541
FAX (03) 3565-0471

CONTENTS

- P.1 施設紹介 … 中野区障害者地域自立生活支援センター つむぎ
- P.2 部会の活動報告など … ① 共同受注部会 ② 雇用就労部会
- P.3 就労支援の取組 … 事例紹介
- P.4 ① 障害者の就労のためのIT講習会
② 特別支援学校卒業生追跡調査から
編集後記



◆◆ 施設紹介 ◆◆◆◆ 中野区障害者地域自立生活支援センター つむぎ

『障害者地域自立生活支援センターつむぎ』は・・・

中野区にお住まいの身体障害・知的障害のある方とご家族の生活を支援する相談支援事業を行っています。2003年4月、スマイルなかの5階に窓口を設けました。夜間・休日にも相談を受けられることが特徴です。障害者福祉の制度のこと、日常生活の様々な心配事、仕事のことや人間関係の悩みなど、毎日の暮らしの中で困ったり、何かよい方法はないかなど悩んだ時、気軽に相談ができる場所です。仕事帰りに、たままったストレスをおしゃべりで発散させたり、お休みの日に立ち寄ってよく理解できない書類と一緒に確認したりする方も多いです。ヘルパー事業所との契約のお手伝い、ヘルパーと出かける時の外出先を一緒に考えることもできます。

障害のある方々の「やりたいこと」が実現できるように、おひとりおひとりの生活が今よりも少しでも良くなるように、関係機関とも連絡を取りながら、一緒に考えていきたいと思っています。気軽に立ち寄れて頼りになる、身近な支援センターでありたいと、考えています。どうぞご利用ください。

同じ障害のある相談員がお話をうかがうピアカウンセリングも行っています。

毎週水曜日の9時から17時は手話の出来る相談員がいます。自立支援法など制度についての学習会、調理や対人関係など生活力アップを目的としたセミナーも実施しています。

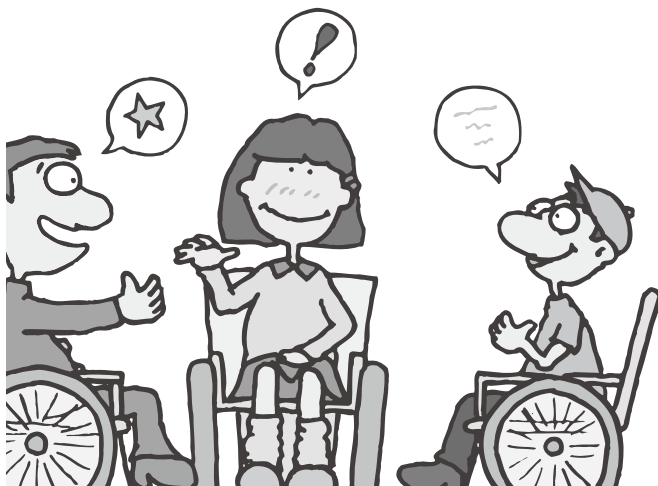
詳しくは下記窓口にお問い合わせ下さい。

*この事業は、中野区から委託を受けて社会福祉法人愛成会が運営をしています。

窓口：中野区中野5-68-7スマイルなかの5F
火曜日～日曜日 9:00～22:00(受付21:00まで)。月曜日、12月27日～1月4日は窓口はお休み)

電話・FAX：03-3389-2375（窓口がしまっている時、電話は携帯電話に転送されます）

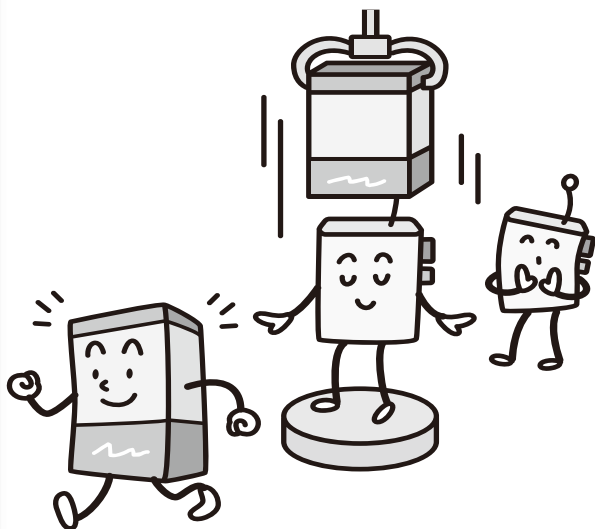
*訪問による相談も可能です。社会福祉法人愛成会のホームページ <http://www.aiseikai.ne.jp>



共同受注部会の近況報告 2008.7

共同受注部会は、発足以来作業の確保という大きな目標をもって活動を続けてきました。今回はその近況を報告します。

継続は力なりと言いますがまさに言葉どおりのところがありまして、部会で話されている内容は少しずつ充実し膨らんできています。2ヶ月に1回の会合の議題は、各施設の近況報告と大口受注案件他の照会等です。具体的には日々の作業の確保はできているか、その作業は訓練として役立っているか、作業単価は適正かを話し合います。また、得意先の情報を共有することで得られるメリットはたくさんあり、問合せのあった施設では取組めなかった案件を別の施設で受入れられないか検討してみる等内容は多岐に渡ります。直近のお話としては、中野区役所において障害者支援施設等への随意契約の範囲を拡大するという通知を各部署に出していただいております、そのことについても積極的に受け入れて対応していこうと申し合わせています。



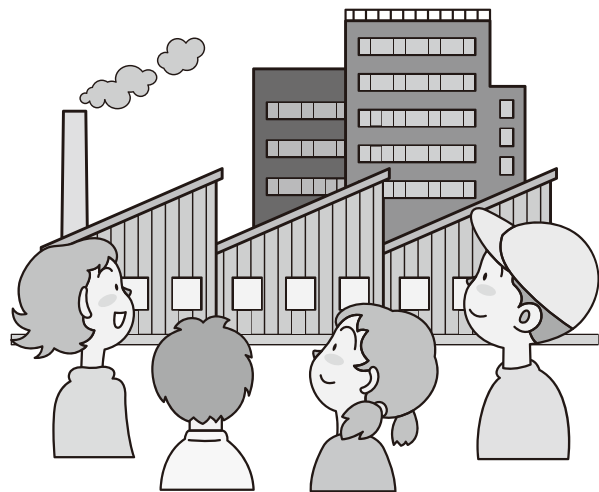
これから部会として取組むべき課題は、定期的な大口受注の確保、受注単価の向上、新たな作業種目の開発等があります。どれも重要な課題であるので、順序をつけず可能性のあるものから積極的に取り掛かろうと思います。利用者のみなさんの工賃アップのため、作業確保に日々工夫されている各施設職員のみなさんの、努力が報われるように側面からの支援となるような部会活動にしていきたいと考えております。

これから部会として取組むべき課題は、定期的な大口受注の確保、受注単価の向上、新たな作業種目の開発等があります。どれも重要な課題であるので、順序をつけず可能性のあるものから積極的に取り掛かろうと思います。利用者のみなさんの工賃アップのため、作業確保に日々工夫されている各施設職員のみなさんの、努力が報われるように側面からの支援となるような部会活動にしていきたいと考えております。

三菱マテリアル(株)職場見学会のご報告

*なかの就労支援ネットワーク雇用就労部会から、参加者12名で訪問してきました。

企業名 : 三菱マテリアル(株)シェアードサービスセンター
人材クリエイティブグループ (三菱マテリアル(株)特例子会社)
設立 : 平成18年6月1日
所在地 : 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-297
業務内容 : 敷地外周辺の清掃業務、室内清掃、名刺作成など
従業員 : チーフ(指導員) 5名
スタッフ(知的障害者) 5名
勤務時間 : 9:00~17:30(休憩1時間)



ネットワークの連携事例 ～笑顔が素敵なT君の事例～

中野区障害者福祉事業団
早乙女 静枝

私がT君に初めて会ったのは、T君が高校生の時でした。当時のT君は愛嬌たっぷりの笑顔で、周囲を明るくするという第一印象でした。ところが、いざ事業団の実習に入ると、嫌なことがあれば机の下に隠れてしまう、逃げてしまうなど、そんな幼い部分が出てきました。

その後、T君は特別支援学校を卒業し、コロニー中野に通所しながら年数回開催される就職面接会などにもチャレンジしていました。そのような最中、ある特例子会社での募集があり、T君を推薦するための実習を再度事業団で行いました。

「実習中はジュース禁止」「あいさつや報告は自分からする」等の目標を自ら掲げましたが、中々実行に移せず幾度となく指導員から注意されていました。自分から報告するのに15分かかったこともありました。

企業実習では、あいさつ等自分から出来ていましたが、今回の特例子会社への就職には結びつきませんでした。しかしながら今回の実習中に見せた頑張りや就労意欲の高いモチベーションは、維持していきたいと、区役所庁舎内体験実習なども積極的にチャレンジしてきました。

それから数ヶ月経ち、某企業から求人情報の提供を受け、再度T君を推薦しようとコロニー中野と連携のもと話しを進めました。勤務地は代々木ですが実習先は神奈川県。遠距離通勤に対応する通勤支援を含め、コロニー中野と事業団の職員双方で支援調整と役割分担を確認しました。またT君のお母様は、事前に本人を連れて通勤練習を行っていたことも知りました。やる気満々です。

企業実習に入り、通勤支援や職場内実習支援等を行ってきた結果、会社からは細かい課題はあるものの実習中の頑張りや成長を大いに認められ採用となりました。

就職してから3ヶ月経ちましたが、嫌なことから逃げることなく果敢にチャレンジし、職場の方からも「T君は少しずつながらも成長している」と評価されるほどです。

月1回、事業団で行なうたまり場にも参加しているT君の笑顔は、どこか誇らしげです。T君のさらなる成長を期待しつつ、今後も見守っていききたいと思います。

今回のように、就労支援ネットワークの連携によって就労支援を行い、T君のように働くことに自信を持ち、誇らしげな笑顔になる方達を増やせるよう、今後も更に連携を深め前進していきたいと思っています。

●●● 参加者の感想 ●●●

- ・企業は障害者の特性に合わせて、仕事内容を考え提供していた。
- ・日々の作業所の中で、どういう点に気をつけて指導したら良いのか考えるきっかけになった。
- ・将来的に就労移行を考える中で、仕事はできても社会性の部分で続かない方もいる。その部分が難しいと実感した。
- ・印象的だったことは、朝礼でビシッと「私たちの10の約束」唱和していたこと。また、チーフ（指導員）が障害者の専門家ではなく元社員だったこと。
- ・作業所の利用者で務まる人はせいぜい1～2人だと感じたので、もう少し重い人の働いている職場を見てみたいと思いました。
- ・企業は本人の支援が多い方やコミュニケーションがとりにくい方を、「重度」と捉えていると感じた。私の「重度」のイメージとの温度差を感じた。
- ・企業の求める人材や仕事内容を知る上で、大企業が行う障害者雇用の現場を見学でき大変参考になった。
- ・働く上で社会性の重要さを実感し、今後利用者の方の訓練に活かしたい。
- ・大企業だけでなく、中小企業が行う障害者雇用の現場も是非見学してみたい。その上で障害者就労の可能性などについて検討していきたい。
- ・朝礼での個人目標の発表は、難しい言葉を使った高度なものだと感じた。
- ・清掃業務なので、中野からの通勤を考えると体力的に厳しい方もいると感じた。
- ・今後、職域を増やしていくことを検討されている伺い、1日も早い実現を期待したい。

障害者の就労のためのIT講習会

中野区 保健福祉部 障害福祉分野
石崎 文子

障害者自立支援法が施行されて以来、障害者の就労が注目を浴びています。中野区の障害のある方の就職も、皆様のご協力のもと順調に増えています。

中野区の「障害者の就労のためのIT講習会」の受講届けからも、(昨年22名の方が受講し)3名の方が就職しました。



「都心部は、事務所が多く事務補助的な仕事が多く求められている。企業面接でも、まず『パソコンができますか?』と聞かれることが多い。」と就労支援に直接携わっている中

野区障害者福祉事業団のジョブコーチのつぶやき。

それなら、少しでも就職を有利に進めるためパソコンスキルを高めそれをウリに求職活動に望んでもらおうと企画したのがこの事業です。

具体的には、平成18年度まで実施していた「障害者のIT講習会」を「障害者の就労のためのIT講習会」とし、時間数も大幅に増やしました。(76時間×5コース)

今年度からは、ITスキルアップのみならずビジネスマナーの習得を旨とした講義を追加、さらに受講修了後は、本人を中心に関係者が集まり、今後の就労に向けての話し合いを持ち、少しでも就労の糸口が見つかるように知恵を出し合っています。これぞ「なかの就労支援ネットワーク!」と悦に入っているのは、私だけではないはずです。

特別支援学校卒業生追跡調査から

東京都立中野特別支援学校 進路指導主幹
深谷純一

東京都知的障害特別支援学校就業促進研究協議会(以下就業促進)では、社会福祉法人東京都社会福祉協議会(以下東社協)と、厚生労働省の平成19年度障害者保健福祉推進事業補助金(障害者自立支援プロジェクト)を受けた「福祉、教育、労働等の連携による知的障害者の就業支援・生活支援のあり方」について調査研究及び検討を行い、報告書をまとめました。その際、本校の追指導と合わせて卒業生の動向を把握しました。その中から、年金の取得状況や、企業就労の雇用条件などをご紹介します。本校では、卒業時点で企業・職業準備訓練に移行した生徒に加えて、追跡調査の中で作業所から企業に移行済みの卒業生を含む合計141名にアンケートを送付しました。アンケートの回収率は45.4%(返信64通/発送141通)でした。

障害者基礎年金については、約60%の卒業生が取得しており、20歳を過ぎている平成16年度卒業生以前では実に87.5%の卒業生が取得していました。全員愛の手帳を所持していて、4度68.8%に対し3度31.2%であること、申請して取得できなかった卒業生が一人であることを考えると、障害が軽くても障害基礎年金を取得できていると言えます。本校の就業先の職域・職種は、サービス関係は全都とほぼ同じ割合でした。製造業は全都9.5%に対し1.8%しかおらず、一方、事務・物流・飲食への就労が全都に比べ多い傾向にあり、地域の特徴となっています。勤務時間は、本校については半分以上が6時間と回答しましたが、全都では半数近くが8時間フルタイムで働いていました。給与面では、5万円単位区切りの質問に対し、本校は55.6%が10~15万円内であり、全都の46.0%より高く、勤務時間が全都より少ないことと合わせて考えると、地域の給与水準が若干高いと思われれます。ただし、平成18・19年度卒業生の月給計算平均は111,536円(手取り103,155円)で、自立した生活を送るために充分とは言えません。また、通勤に関してこの2年間の平均から、時間は約50分、2系統(乗り換え1回)の交通機関利用が必要となっていて、一定時間の時間と距離を通勤出来る事がひとつの就労への指標になっています。

...

(参考文献)知的障害者就労支援研究報告書「福祉、教育、労働の連携による知的障害者の就業・生活支援」~連続性のあるチーム支援モデルの提案~DVD付き<社会福祉法人東京都社会福祉協議会>(平成20年3月)

編集後記

今夏は突然の激しい雷雨に見舞われ、各地で被害が相次ぎました。雷が鳴るたびに通所者や就職したメンバーの帰宅を心配していました。そんな中、見ず知らずの人に電話を借りて…なんていうたくましい方もいたようです。知らない人に助けを求めるのは、とても勇気がいることですが、難しいことを一人で抱えず助けを求めることは、大切なことだと痛感したものでした。私達支援者も助け合いながら、人と人のネットワーク作りを大切にしていきたいと思います。

(S)